

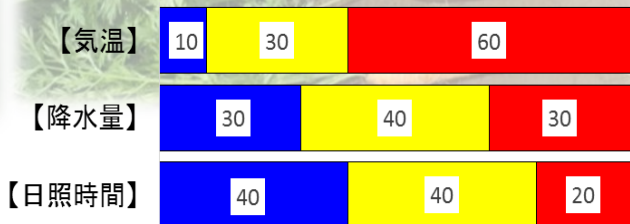
JＡ全農ちば 営農情報集 (5月号)

今月の情報

- ①水稲 本田殺虫剤と後期除草剤の使用上のポイント
- ②事例紹介 ニンニク新産地づくりとしての取組み
- ③園芸野菜 病虫害防除情報
- ④果樹 病虫害防除情報
- ⑤いちご育苗期 ハダニ防除ミヤコバンカー®の上手な使い方
- ⑥安全な農作物生産の取組みについて☆異物混入を防ぎましょう☆

5月の気象について（気象庁 5/6 発表 長期予報（1 か月）から）

- 1. 気温は1ヶ月と通して例年より高いですが、一方で日照時間が短めで、晴れの日が少ない予報です。
- 2. 気温が高いため、施設栽培・育苗ハウスでは換気に注意してください。



凡例：■低い ■ 平年並 ■ 高い

（長期予報（1 か月）は毎週木曜日に発表されます。週予報とともに確認し、今後の栽培管理の計画を立てましょう）

注意とお願い

農薬登録は掲載時点の内容です。農薬を使用する際には、最新の登録内容をご確認ください。

営農技術情報のカラー版や、その他の営農情報は全農ちばHP内にて公開中

< <https://www.zennoh.or.jp/cb/producer/einou> >

水稲 本田殺虫剤と後期除草剤の使用上のポイント

J A全農ちば
営農支援部

イネミズゾウムシ・イネドロオイムシなどの初期害虫が多い水田は、多発生にならないよう発生状況に応じて追加の防除を実施しましょう。

また取り残したノビエや多年生雑草も対策を取りましょう。

1. 初期害虫の生態及び防除対策

初期害虫対策のため箱施薬剤を使用した場合でも害虫の発生量が多いと防除しきれないことがあります。食害が多い場合は本田防除剤による追加防除を行いましょう。

千葉県の病虫害発生予報(4月19日発行)では、イネミズゾウムシは「やや小」、イネドロオイムシは「並」となっています。

(1) 初期害虫の生態

ア. イネミズゾウムシ

- ・体長3～4mm。年1回発生。
- ・成虫で越冬し、18℃以上の気温と風速1～2m以下の弱風条件下で飛翔する。
例年では4月下旬頃から飛来開始。
- ・成虫は葉脈にそって細長く食害する。幼虫は根を食害し初期生育を抑制する。

イ. イネドロオイムシ

- ・体長5mm。年1回発生。成虫で越冬し5月以降飛来する。
- ・成虫、幼虫ともに葉を食害するが、幼虫による被害が大きい。

(2) 本田防除対策について

ア. 成虫(イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ)を中心とした防除対策

5月中～下旬に合成ピレスロイド系薬剤(水面施用剤)を散布する。

・トレボン粒剤 2～3kg/10a

除草剤同様に、湛水状態(湛水深3～5cm)でまきむらのないよう均一に散布し、散布後3～4日間は湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意しましょう。

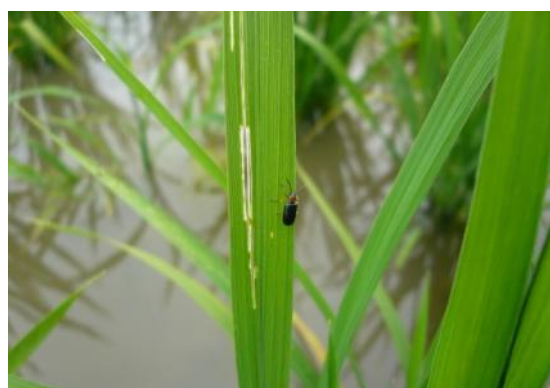
イ. 幼虫(イネドロオイムシ)を中心とした防除対策

※幼虫による食害が見られ始めたら「粉剤」に切り替えて散布する。

・トレボン粉剤 DL (3～4kg/10a)、スタークル粉剤 DL (3kg/10a)



イネドロオイムシの幼虫と被害葉



イネドロオイムシの成虫と被害葉

2. 取り残しの水田雑草対策

移植後の活着不良により一発除草剤の散布が遅れた場合や、水管理がうまくいかなかった水田では除草剤が効果を発揮できず取り残しの雑草が発生します。その場合は使用時期や対象雑草を確認し、後期除草剤による対策をしましょう。後期除草剤は残った雑草によって効果的な薬剤が異なるので、選択を間違えないよう注意しましょう。

(1) ノビエ及び広葉雑草などが残った水田

レブラス1キロ粒剤・ジャンボ

- ア. 使用時期：移植後14日～ノビエ4葉期ただし、収穫60日前まで
- イ. 使用方法：湛水散布。ジャンボ剤は水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。
- ウ. 使用薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
ジャンボ剤 小包装（パック）10個(400g)/10a
- エ. 特徴：ノビエのほかコナギ、ホタルイ、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラなど広範囲に効果を示す。

クリンチャーバスME液剤

- ア. 使用時期：移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで
- イ. 使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。
- ウ. 使用薬量：1000 ml/10a
- エ. 散布水量：1000l/10a （100倍液）
- オ. 特徴：ノビエに効果がある「クリンチャー剤」と広葉雑草に効果を示す「バサグラン剤」との混合剤。

ワイドアタックSC

- ア. 使用時期：移植後20日（稲5葉期以降）～ノビエ6葉期まで 但し収穫30日前まで
- イ. 使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。
- ウ. 使用薬量：100 ml/10a
- エ. 散布水量：1000l/10a （1000倍液）
- オ. 特徴：ノビエのほかクログワイ、オモダカ、ミズガヤツリなどにも効果を示す。効果は遅効的。しっかりと茎葉散布処理をする。

アトリ1キロ粒剤・豆つぶ250

- ア. 使用時期：移植後14日（稲5葉期以降）～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで
- イ. 使用方法：湛水散布
- ウ. 使用薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
豆つぶ剤 250g/10a
- エ. 特 徴：コウキヤガラ、オモダカなどの多年生雑草に対する効果高い。
ノビエも対象にする場合は、葉齢に注意し散布する。

(2) ノビエのみ残った水田

クリンチャー1キロ粒剤

- ア. 使用時期：移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで
- イ. 使用方法：湛水散布
- ウ. 使用薬量：1kg/10a
- エ. 特 徴：ノビエに効果を発揮。

(3) 広葉雑草のみ残った水田

バサグラン粒剤・液剤

- ア. 使用時期：移植後15～55日 但し、収穫60日前まで(液剤は収穫50日前まで)
- イ. 使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。
- ウ. 使用薬量：粒剤：3～4kg/10a
液剤：薬量700ml・水量70ℓ・100倍液
- エ. 特 徴：対象草種は広葉雑草のみ。液剤はしっかりと茎葉散布処理をする。

作成：古内

事例紹介 ニンニク新産地づくりとしての取り組み

J A全農ちば
営農支援部

1. 取組の背景

ニンニクの国内出荷は青森県、香川県、宮崎県、大分県、北海道などに産地があり、特に青森県を中心とした周年出荷体制となっております。

海外からの輸入は中国産のシェアが大きく、全体の50%程度となっています。一方、関東では国内主要産地程の大きな産地が無いのが現状です。

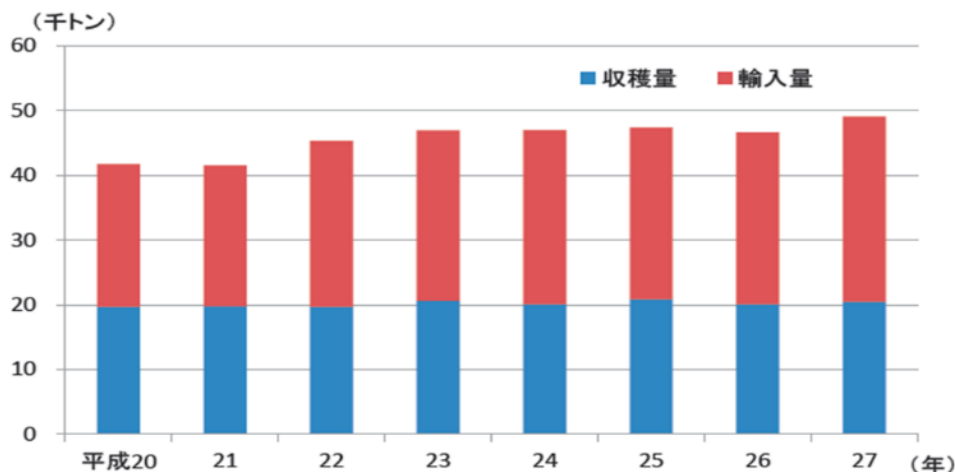
このようななか、県内にて新産地作りを目指した新規導入品目として取り組んでいます。

にんにくの需給動向



図の引用：農畜産業振興機構 ニンニクの動向（平成27年）

にんにくの供給量（収穫量＋輸入量）の推移



資料：農林水産省「平成27年産野菜生産出荷統計」、農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料は財務省「貿易統計」、農林水産省「植物防疫統計」）

2. 千葉県に適した品種選定

ニンニクには大きく分類すると寒地系と暖地系品種があります。ニンニクは、生育にあたって日長と気温に影響される作物です。

特に気温については、暖冬の年もあれば11月より寒さが本格化する年があるため、年ごとに生育にバラつきが見られました。

そこで、気温に左右されにくい品種を検討したところ、寒地系よりも熟気が早く、暖地系よりも熟期の遅い品種（中間地系品種）を選定しました。



乾燥後のニンニク

3. 産地での取り組みについて

現在、県内のいくつかのJAにて、新規導入品目として取り組まれています。

生産されたニンニクは、市場・直売所などに出荷されています。出荷にいたるまでに様々な課題もありますが、今後も新たな産地作りを目指して取り組んでいきます。



乾燥施設



出荷直前のニンニク



荷姿 (10kg)



圃場風景

作成：卜部

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1 はじめに

4月までに一部園芸作物で害虫（コナガ・アブラムシ等）の発生が見られました。5月の予報では気温が高め、晴れの日が少なめとなっておりますので、降雨次第では害虫（晴れ多め）・病害（雨多め）どちらも発生しやすい状況になります。

秋冬ネギ・サツマイモは栽培開始の重要な時期ですので、初期防除を徹底しましょう。

2 アブラムシ類 [ダイコン・スイカ・メロン]

発生が増えると葉の萎縮等の被害が生じます。また、収穫物にアブラムシ類が混入すると、品質の低下に繋がります。

農薬選択時にはダイコンは収穫前日数、スイカ・メロンはミツバチへの影響に注意しましょう。

○ダイコン アブラムシ類防除薬剤

対象害虫	薬剤系統 (IRAC)	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
アブラムシ類	4A	アドマイヤーフロアブル	4000	収穫14日前	2回以内
	4C	トランスフォームフロアブル	2000	収穫前日	3回以内
	29	ウララDF	2000	収穫前日	2回以内

○スイカ アブラムシ類防除薬剤

対象害虫	薬剤系統 (IRAC)	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
アブラムシ類	4A	モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000	収穫3日前	3回以内
		バリアード顆粒水和剤	2000～4000	収穫前日	3回以内
	23	モベントフロアブル	2000	収穫前日	3回以内
	29	ウララDF	2000～4000	収穫前日	2回以内

○メロン アブラムシ類防除薬剤

対象害虫	薬剤系統 (IRAC)	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
アブラムシ類	4A	モスピラン顆粒水溶剤	8000	収穫3日前	3回以内
		バリアード顆粒水和剤	4000	収穫前日	3回以内
	23	モベントフロアブル	2000	収穫前日	3回以内
	29	ウララDF	2000～4000	収穫前日	2回以内

※スイカ・メロンの各薬剤はミツバチ影響日数1日。

またモスピランはアザミウマ類、モベントはアザミウマ類・ハダニ類対策を兼ねる。

3 サツマイモ〔定植準備〕

(1) 病害対策：つる割れ病他

土壌伝染性で苗の切り口や土中の茎、根部から感染します。株全体が萎れ、葉は黄～黒褐色になり落葉します。茎の地際部が縦に割れることが特徴です。(つる割れ)

クロルピクリン剤（ドロクロール等）やガスタード微粒剤の土壌消毒と定植苗の薬剤処理を実施しましょう。

○サツマイモ 定植苗防除薬剤

対象病虫害	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
つる割病	ベンレート水和剤	500～1000 倍 20～30 分間苗基部浸漬	植付前	1 回
黒斑病	ベンレート T 水和剤 20※	200 倍 30 分間さし苗基部浸漬		

※ベンレート T はベンレート＋成分チウラム（予防剤）の混合剤



つる割れ病：被害株の様子



黒斑病：被害株の様子（写真左の株）

その他：「サツマイモ基腐病」が西日本及び静岡を含む全国8県（令和2年12月現在）で発生が確認されています。千葉県ではまだ確認されていませんが、一度被害が発生すると防除が困難であるため、侵入を未然に防ぐことが大切です。種芋・苗から持ち込まれることがわかっていますので、種芋や苗は健全なものを選別し、また上記の苗消毒を徹底しましょう。

(2) 害虫対策〔センチュウ類・コガネムシ類・ハリガネムシ類〕

センチュウ対策について、「べにはるか」はセンチュウの影響を受けにくいですが、畑のセンチュウの量が減っているわけではありません。後作のために防除対策は必要です。D-D剤（D-C油剤・テロン等）による土壌消毒と粒剤による防除を実施しましょう。

○サツマイモ ネコブセンチュウ防除薬剤

対象害虫	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	備考
ネコブ センチュウ	ネマトリンエース粒剤	15～20kg	植付前	1 回	作条処理
		10～30kg			全面処理
	ネマキック粒剤	20kg	植付前	1 回	全面処理
	ビーラム粒剤	20kg	植付前	1 回	全面処理

○サツマイモ コガネムシ・ハリガネムシ防除薬剤（作条・植溝処理の登録内容）

対象害虫	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	備考
コガネムシ類 ハリガネムシ類	アドマイヤー1 粒剤	6kg（全面） 4～6kg（作条）	植付前	1回	ハリガネムシ登録なし
	ダーズバン粒剤	9kg （全面・植溝）	植付時	2回以内	
	フォース粒剤	9kg （全面・作条）	植付前	1回	
	プリンスベイト	6kg（植溝） 6kg（全面）	植付時 植付前	1回	※

※植溝処理：ハリガネムシ類・コガネムシ類登録有り、全面処理：コガネムシ類登録のみ

4 ねぎ〔定植準備：育苗トレイ〕

ペーパーポット等の育苗トレイ苗に対し灌注処理登録を持つ農薬が年々増えており、初期の害虫に加えて黒腐菌核病の対策も可能となっています。ただし黒腐菌核病対策は土壌消毒（バスアミド・キルパー等）、圃場 pH 値と排水性の改善、圃場での防除（10月ごろの殺菌剤散布）を組み合わせることが重要です。

根から成分が吸収されて効果を発揮しますので、定植後からの効果を期待する場合については、使用時期が「育苗期後半～定植当日」の薬剤は定植直前ではなく定植前日～3日前ほどに処理を済ませておきましょう。

○初期害虫 防除対策

対象害虫	薬剤名	使用量 ※1	使用時期	使用回数
ネギアザミヤ ネギハモグリバエ ネギバエ ※2	スタークル顆粒水溶剤	50 倍（灌注）	定植前日～ 定植時	1回
	ベリマークSC	400 倍（灌注）	育苗期後半～ 定植当日	1回
	ジュリボフロアブル※3	200 倍（灌注）		

○黒腐菌核病 防除薬剤

対象病害	薬剤名	使用量※1	使用時期	使用回数
黒腐菌核病	パレード 20 フロアブル※4	100 倍（灌注）	育苗期後半～ 定植当日	1回

※1 1箱成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4L）あたり0.5L

※2 その他登録：ネキリムシ類（ベリマーク・ジュリボ）、ネダニ類（ジュリボ）

※3 ジュリボはベリマーク＋アクタラの混合剤。

※4 薬害について、パレード 20 フロアブルとスタークル顆粒水溶剤・ジュリボフロアブルの同時処理は可能。

作成：名雪・斎藤

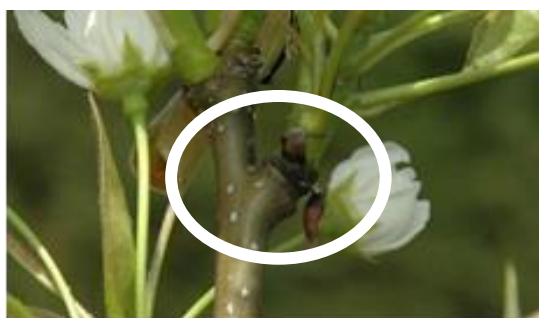
果樹 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1 はじめに

今年度は開花が早く、多くの園で防除が前進化しています。また一部園では果柄部に黒星病の発生が見られるなど、すでに病害の影響が生じつつあります。5月の予報では平年より気温が高めである一方、晴れの日が少ない予報であるため、降雨が繰り返された場合には黒星病発生のリスクも上がります。下記を参考に、黒星病発生の懸念のある園では追加防除をお願いいたします。

2 黒星病対策



【基幹防除】黒星病・心腐れ症・疫病などの総合予防

5月上旬 : ファンタジスタ顆粒水和剤 3000 倍 (前日/3 回以内)
+ トレノックスフロアブル 500 倍 (30 日前/5 回以内)

5月中旬① : ベルクートフロアブル 1,500 倍 (14 日前/5 回以内)

5月中旬② : ユニックス顆粒水和剤 47 2,000 倍 (21 日前/3 回以内)
+ ベルクートフロアブル 1,500 倍 (14 日前/5 回以内)

5月下旬 : キノンドーフロアブル 1,000 倍 (3 日前/9 回以内)

●ポイント

(1) 病斑の除去

果柄部や葉軸に黒星病の発生が見られる場合は摘果作業等と合わせて除去しましょう。

(2) 黒星病の臨機防除や、前進化した防除タイミングを戻すため追加防除を行う場合

ユニックス顆粒水和剤 47 とベルクートフロアブルによる追加防除を実施しましょう。

ユニックスは有機リン系殺虫剤(サイアノックス等)との混用は避けましょう。

(3) 防除効果を安定させるには散布水量も重要です。150～200ℓ/10a を目安に様々な向きから

農薬がかかるよう散布しましょう。特に降雨前や発生中の病害対策のため必要です。

3 アブラムシ類、ハマキムシ類、ニセナシサビダニ等

5月以降、アブラムシ類・チョウ目害虫・ニセナシサビダニが発生します。特にアブラムシ類・ニセナシサビダニは新梢・新葉をよく観察し、防除を行いましょう。

複数種の害虫防除では基幹防除（防除暦）を参考としますが、それぞれの臨機防除が必要な場合は下枠内をご確認ください。



アブラムシ類被害



ニセナシサビダニ被害

【基幹防除】アブラムシ類・ハマキムシ類・その他害虫防除

5月上旬 サイアノックス水和剤 1,000倍（無袋45日前・有袋7日前／3回以内）

5月中旬 コテツフロアブル 2,000倍（前日／3回以内）

〔臨機防除〕アブラムシ類、シンクイムシ類の発生が見られた場合。

マブリック水和剤 20 2,000倍（30日前／2回以内）

【注意点】 コテツ・マブリック共に浸透移行性が無いため、既に葉が巻いてしまうと効果が発揮しにくい。その場合は下記の臨機防除対策を参照。

5月下旬 モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍（前日／3回以内）

※新高、長十郎等の場合→ダントツ水溶剤 2,000倍（前日／3回以内）もしくは
アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍（前日／3回以内）のいずれかを散布する

●アブラムシ類臨機防除

アブラムシ類の発生が続き、臨機防除が必要な場合はウララDF（2000倍／14日前／2回以内）またはトランスフォームフロアブル（2000倍／前日／3回以内）を選択しましょう。ただし、どちらもこの時期の対象害虫としてはアブラムシ類のみなので注意。

●チョウ目害虫の臨機防除

基幹防除のサイアノックス・コテツ・モスピランがチョウ目害虫防除を兼ねますが、発生が多いようであれば サムコフロアブル 10 5,000倍（前日／3回以内）の追加防除を実施しましょう。ただしチョウ目害虫のみが対象なので注意。

作成：名雪

いちご育苗期 ハダニ防除ミヤコバンカー®の上手な使い方

ミヤコバンカー防除プログラム例



* ミヤコバンカーは、50パック規格を発売することとなりました。詳細はJAまでお問い合わせください。
* 2021年版防除暦や農薬の影響日数表の詳細は、JA全農ちば営農技術普及課まで問い合わせてください。

いちご育苗期留意事項

いちご育苗期の灌水方法は、低水圧の散水チューブや、底面吸水マット、頭上灌水などを使用されますが、頭上灌水の場合、ミヤコバンカーシートの横置きは、水濡れダメージが生じる場合がありますので、割りばし又は竹ぐしを使用し縦置きで地表面から2cm~3cm浮かせ設置してください。

ミヤコバンカーの設置方法



* 竹串(18cm)を活用した設置例

* 株元の葉陰に直立させて設置してください
* 灌水チューブの水がなるべくかかりにくように工夫してください。



* 竹製割りばし(20cm以上)を活用した設置例

ミヤコバンカー設置数の目安

子苗本数/親株	ミヤコバンカー設置数
20本	親株6株に1個ミヤコバンカーを設置
30本	親株5株に1個ミヤコバンカーを設置
40本	親株4株に1個ミヤコバンカーを設置

* 10aあたり8000株定植の場合

子苗本数/親株	ミヤコバンカー設置数
20本	親株6株に1個ミヤコバンカーを設置
30本	親株4株に1個ミヤコバンカーを設置
40本	親株3株に1個ミヤコバンカーを設置

* 10aあたり6000株定植の場合

JA全農ちば 営農支援部 営農技術普及課

いちご育苗期 ハダニ防除ミヤコバンカー®の上手な使い方

ミヤコバンカー薬剤影響表一例

・殺菌剤

炭疽病	影響	薬剤名	FRAC
炭疽病	A	アミスター20フロアブル	11
		ファンタジスタ顆粒水和剤	
		セイビアフロアブル20	12
		フロンサイドSC	29
		オーソサイド水和剤80	M4
		ベルコート水和剤	M7
		デランフロアブル	M9
	A'	アントラコール顆粒水和剤	M3
	B	ジマンダイセン水和剤	UN/M3
		ベンコゼブ水和剤	
	C3	ゲッター水和剤	10/1
	C4	ベンレート水和剤	1

※2021年3月の登録内容

疫病	影響	薬剤名	FRAC
疫病	A	ランマンフロアブル	21
		レーバスフロアブル	40
	A'	オラクル顆粒水和剤	21
	B	リドミルゴールドMZ	UN/M3/4

・殺虫剤

ハダニ類	影響	薬剤名	IRAC
ハダニ類	A	ニッソラン水和剤	10A
		カネマイトフロアブル	20B
		スターマイトフロアブル	25A
		ダニサラバフロアブル	
		ダニコングフロアブル	25B
	A'	マイトコーネフロアブル	20D
		ダブルフェースフロアブル	25B/21A
		アカリタッチ乳剤	気門封鎖剤
		エコピタ液剤	
		サフオイル乳剤	
		サンクリスタル乳剤	
		粘着くん液剤	
		フーモン	
		ムシラップ	
	B	マラソン乳剤	1B
		バロックフロアブル	10B
		ダニトンフロアブル	21A
		ハーベストオイル	気門封鎖剤

ハダニ類	影響	薬剤名	IRAC
ハダニ類	C1	アグリメック	6
		アフーム乳剤	
		ピラニカEW	21A
	C2	コロマイト乳剤	6
		コテツフロアブル	13
		モベントフロアブル(灌注)	23
		アーデント水和剤	3A
	C4	グレーシア乳剤	30
		トクチオン乳剤	1B
		ロディー乳剤	3A
		サンマイトフロアブル	21A
		マイトクリーン	

各種薬剤の影響表

A: 天敵に影響が小さい剤。いつでもバンカーシートとの併用が可。

A': 2週連続散布不可。

B: 天敵にやや影響がある剤、バンカーシート設置前または設置後2週間以内であれば併用可。

ただし6月7月8月の高温期においては、1週間以内とする。

C1: 天敵に影響のある剤、バンカーシート1週間前まで使用可能、以後は使用不可。

C2: 天敵に影響のある剤、バンカーシート3週間前まで使用可能、以後は使用不可。

C3: 天敵に影響のある剤、バンカーシート6週間前まで使用可能、以後は使用不可。

C4: 天敵に影響のある剤、バンカーシートとの併用は不可。

安全な農作物生産の取り組みについて

☆異物混入を防ぎましょう☆

J A全農ちば
営農支援部

1. 食の安心・安全について

昨今、消費者の食の安全安心への関心は継続して高く、それらに対するリスク管理が求められております。農産物の食の安全安心リスクの一つとして、異物混入が挙げられます。発生頻度の多いリスクでもありますので、収穫や出荷調整場面において事前に防いでいきましょう。

2. 異物混入を防ぎましょう！

①ハサミや包丁など収穫・出荷の際に使用する道具の混入を防ぎましょう

収穫や調整場で使用する道具は
片付ける場所を決めましょう



作業後に数を確認できるように
器具類は番号・色付けしましょう



②虫やタバコ、ペットの毛、ペン等が出荷物に入り込まないようにしましょう

異物混入の中では「虫」「タバコ」の混入が多いです！！

虫を作業場に入れないように
網戸などで防ぎましょう



調整場と喫煙・飲食場
で分けましょう



場所を分けることができない場合は
「作業時間」と「休憩時間」で区切り
都度片づけましょう

ポケットの中身の混入に
注意しましょう
※スマホの混入も増加中



チャック付のポケット等
に入れましょう

③出荷用の包装資材は清潔に保ちましょう

出荷用段ボールなどにカバーをかけて
埃がかぶらないようにしましょう
汚れた資材は使用しないようにしましょう



気づかないところで混入してしまうことが多いです。
「入れない」ための予防をしましょう！

作成：名雪・田代